**合併処理浄化槽の施工基準及び工事写真チェックリスト**

**チェック欄には該当（〇）、該当無（－）で記入**　　　　　　　　R5.6：門川町

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工区分 | 工事写真 | 留意事項 | チェック |
| １．工事着工前 | ①工事黒板、標識版と共に浄化槽設備士を含めた全景 | ・浄化槽設備士が工事を実地に監督しているか、又は自ら工事を行っているか |  |
| ・浄化槽の設置位置を地縄張り等で示し、その位置が設置届出書に添付した図面と相違ないか |  |
| ２．掘　削 | ①掘削の幅、深さ | ・浄化槽の大きさに対し、十分な幅、長さ、深さで掘削が行われているか**（寸法検側）** |  |
| ②土留め、水替えの状況 | ・土質に応じた勾配により掘削できる場合を除き、掘削深度が１．５ｍ以上の場合、土留めによる崩壊対策がとられているか（支保工の有無） |  |
| ・湧水が多い場合は水替え工事が適切にとられているか（釜場、排水ポンプの設置） |  |
| ３．基　礎 | ①砕石又は栗石基礎 | ・ランマー等により、十分な締め固めが実施されているか |  |
| ・普通地盤の場合：砕石基礎（厚さ１００ｍｍ）  ・軟弱地盤の場合：栗石基礎（厚さ１５０ｍｍ　　　　　**（厚さ検測）** |  |
| ③配筋の施工状況 | ・配筋D-10－＠２００、シングル**（ピッチ検測）** |  |
| ・スペーサー等の使用により、被り（４０～５０ｍｍ）の確保 |  |
| ④基礎コンクリートの打設状況（コンクリートの厚さ、広さがわかること） | ・型枠の設置、寸法は浄化槽の外形寸法以上、コンクリート厚１００ｍｍ**（厚、幅、長さ寸法検測）**  ・コンクリート強度１８N／ｍ㎡以上 |  |
| ・コンクリートの打設後、適正な養生期間が設けられているか   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 養　生　日　数 | | | 備考 | | 気　温 | 15℃以上 | 5～15℃ | | 早強セ | ２ | ３ | 緊急 | | 普通セ | ３ | ５ | 一般 | |  |
| 施工区分 | 工事写真 | 留意事項 | チェック |
| ４．据　付 | ①浄化槽本体及び据え付状況には浄化槽設備士をいれて | ・メーカー、型式が設置届出書に記載されたものと相違ないか |  |
| ・本体が水平に設置されているか**（水平器接写）** |  |
| ②水張りの状況（漏水確認） | ・埋戻しの前に水張りを行い、満水にしているか |  |
| ・漏水はないか（２４時間後確認） |  |
| ５．埋戻し | ①埋戻しの状況 | ・良質土により施工されているか |  |
| ・水締めを行いながら、突き棒等により、十分な締め固めが実施されているか（上下半分づつ） |  |
| ・本体の水平が保たれているか**（水平器接写）** |  |
| ６．嵩上げ工事 | ①嵩上げ高の状況 | ・マンホール蓋から３００ｍｍ以内  で、バルブ上端から４５０ｍｍ以内**（嵩上げ高検測）** |  |
| ・嵩上げ高さが３００ｍｍ以上の場合はピット工事が行われているか |  |
| ７．上部スラブ工事 | ①配筋の施工状況 | ・基礎は砂（嵩上無）又は砕石（嵩上有）とする |  |
| ・配筋：D10－＠２００（シングル）  **（ピッチ検測）**及び蓋周りの補強筋 |  |
| ・被りを確保 |  |
| ②スラブコンクリートの打設状況 | ・型枠設置、コンクリート厚１００ｍｍ**（厚、幅、長さ検測）** |  |
| ・コンクリートの打設後、適正な養生期間が設けられているか |  |
| ８．汚水管設置 | 設置状況（各所） | ・管勾配は１／１００以上  ・設置届出書に添付された図面どおりに汚水弁が設置されているか  　◎起点：各排水が屋外に出た所  　◎屈曲点：４５度以上の屈曲点  　◎合流点：２系統以上の排水の合流点  　※枡の種類が写真から確認 |  |
| ・密閉できる蓋を備えたインバート又はトラップ弁が設置されているか |  |
| 施工区分 | 工事写真 | 留意事項 | チェック |
| ９．ブロアー | 設置状況 | ・ブロアーの電源が確保されているか |  |
| ・水平に設置され、固定が十分行われているか  ◎専用架台は平坦で強固か  ◎GL（地面）から１００ｍｍ以上 |  |
| ・アースは接地されているか |  |
| 10．放流先 | 放流先の状況 | ・放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流の恐れはないか |  |
| ・放流口の目塗り（側溝内と外）ができているか |  |
| 11．既存浄化槽 | 掘り出し、処分の状況 | ・既存浄化槽の掘り出し又は中埋めが適正になされているか  ・処分までの作業風景を写真撮影しているか  ※産廃施設の近景が望ましい |  |
| 12．工事完成 | 施工後の浄化槽を背景に工事黒板、標識板と共に浄化槽設備士 | ・施工全体に問題はないか |  |

**◎浄化槽上部が駐車場となる場合**

**但し、一般住宅での支柱レスタイプの浄化槽【２ｔ荷重（普通車程度）対応】を除く**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 基　　　礎 | 基礎コンクリート | 広さ | 浄化槽外形寸法＋支柱径寸法以上 | |  |
| 厚さ | １８０ｍｍ以上 | |  |
| 配筋 | ５～７人槽 | D-10-@200ダブル |  |
| ８～10人槽 | D-13-@200ダブル |  |
| 上部スラブ | スラブコンクリート | 広さ | 浄化槽外形寸法＋支柱径寸法以上 | |  |
| 厚さ | １８０ｍｍ以上 | |  |
| 配筋 | ５～７人槽 | D-10-@200ダブル |  |
| ８～10人槽 | D-13-@200ダブル |  |
| 支　柱 | 鉄筋コンクリート | 直径 | ２００ｍｍ以上（４本～６本） | |  |
| 主筋 | 4-D13 | |  |
| フープ筋 | D10-@150 | |  |

※１．支柱芯間は、長辺：短辺＝1.25：1　以内とする。

　　２．支柱は、スラブ外面より５００ｍｍ以内に配置すること。

　　３．浄化槽本体と支柱との間は５０ｍｍ以上の間隔をあけること。

　　４．浄化槽のマンホールは駐車場仕様とすること。

**当チェックリストは、完了実績報告書の工事完成写真に添付するものとする。**

当チェックリストのデータが必要な方は役場環境水道課　環境係までご連絡下さい